

J-1 : 国際化推進

開催日時・会場 9月17日(木曜日) 10:30 - 12:00 会場B

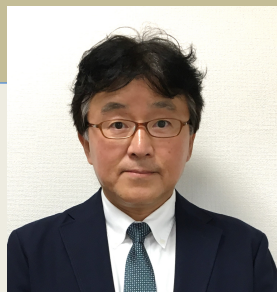
海外ファンドを活用した 若手研究者の国際化支援を学ぶ

国際共同研究の強化・促進は、多くの大学が共通して抱える課題とされている。とりわけ近年では、研究者がキャリアの早期の段階で国際的な環境での研究活動を経験し研究者としてのネットワークを育むことが重要であるという認識が高まっており、URAにはその支援の仕組みを強化することがますます求められている。「海外ファンド」の獲得と活用を支援することは、そうした若手研究者の国際的な活躍を広げる機会であり、また多様な財源の確保を必要とする大学にとっても必要な施策である。そこで本セッションでは、研究の国際化支援や若手研究者の育成を担当するURAを主な対象に、国際的なファンディング機関、若手研究者、ほか若手研究者の国際的な活動を支援する関係団体を交えて取り組み事例や課題を共有・議論する。

具体的には、国際的な共同研究や研究者の海外での研究活動を支援する代表的なプログラムである、HFSP (Human Frontier Science Program)を主軸に据える。国際HFSP推進機構および日本医療研究開発機構(AMED)の国際プログラム担当者、若手研究者の国際的な活動を支援する海外日本人研究者ネットワーク(UJA)、HFSP等の国際研究を支援するファンドを活用し研究ステージを発展させた若手研究者等を講師に迎え、それぞれの立場から経験や課題認識を紹介戴く。またその後、パネルディスカッションにおいては、研究の国際化を支援するいくつかの大学のURAを交え、国際的なファンディング機関が研究機関に求めるもの、各研究機関においてURAが果たすべき役割、研究者も含めた支援ネットワークの必要性等について、議論する予定である。

セッション担当者

松岡 信也:京都大学 学術研究支援室
シニア・リサーチ・アドミニストレーター(上席)



京都大学薬学部卒、薬学博士。国内大手製薬企業で、長く医薬品の創薬研究や研究開発マネジメントに従事。2019年より現職で、京都大学の研究力強化や研究者の支援を担当。HFSP国内位委員会分科会委員。

登壇者

鈴木 環: 京都大学 学術研究支援室
リサーチ・アドミニストレーター(主任)



慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科(環境デザイン)、パリ大学第一大学院留学、(独)国立文化財機構 東京文化財研究所研究員、国際協力機構(JICA)専門家を歴任。2014年より現職、国際共同研究支援、人文社会学支援、若手研究者の国際化支援を中心に担当。HFSP国内位委員会分科会委員。

古川 修平: 日本医療研究開発機構
国際戦略推進部 国際戦略推進課
主幹



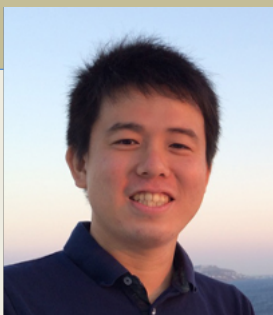
九州大学理学部生物学科、東京理科大学専門職大学院イノベーション研究科 知的財産戦略専攻卒業。民間企業、科学技術振興機構(JST)を経て、2015年より現職。AMED 国際事業での研究支援や HFSP の日本国内での普及、運営支援を担当。

足立 剛也: 国際HFSP推進機構
Scientific Officer



慶應義塾大学大学院 医学研究科 医学研究系 博士課程。慶應義塾大学医学部皮膚科、AMED難病研究課を経て、2018年よりフランス・ストラスブールに赴任。フランス国立科学研究センターCNRS/ストラスブール 大学客員教授。国際連携・異分野融合・安心の提供をテーマに、研究(者)を多面的に推進(支援)。

小嶋 良輔: 東京大学 大学院医学系研究科
助教



東京大学薬学部卒業(2009)。東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了(2014)。スイス連邦工科大学チューリッヒ校(ETH-Zurich) 博士研究員 (HFSP long-term fellow) を経て、2017年より現職。2017年10月より、JSTさきがけ研究者(「微粒子」領域)兼任。2019年、HFSP Career Development Awardを受賞。

登壇者

佐田 亜衣子 : 熊本大学 国際先端医学研究機構 特任准教授



2011年総合研究大学院大学遺伝学専攻修了、博士(理学)取得。学位取得後、米国コーネル大学にて博士研究員として5年間勤務し、皮膚幹細胞研究に従事。2011年HFSP長期フェロー。筑波大学生存ダイナミクス研究センター助教を経て、2019年10月より現職。2020年よりNPO法人ケイロン・イニシアティブ活動に参画。

クスタース ハロルド (Harold Kusters) : 九州大学 研究・産学官連携推進部 Grant サポート室 室長



オランダ出身。ライデン大学卒業。広島大学大学院にて博士号取得。2012年にURAとして九州大学学術研究・産学官連携本部に雇用され、国際研究、産学官連携、研究資金獲得及びそれに関連する業務を担当。現在、研究・産学官連携推進部 Grant サポート室長として研究推進及び部資金獲得を担当。

小泉 周 : 自然科学研究機構 研究力強化推進本部 統括URA



慶應義塾大学医学部卒業。医師、医学博士。ハーバード大学医学部研究員などを経て、2013年より現職。統括URAとして、機構のプリンストン大学等との国際連携事業などを主導。